

安心して楽しく子育てできる環境を整備

小学校給食無償化・「まるっとこどもセンター」開設

市は、若者世代・子育て世代から選ばれるまちを目指し、令和6年度当初予算案において、安心して楽しく子育てできる環境づくりをさらに進める。市立小学校全児童を対象に給食の無償化を行い、子育て世帯の経済的負担軽減を図る。また、子育て世帯の多様な悩み・課題に対しワンストップで切れ目のない支援を提供する「まるっとこどもセンター」を4月から設置。9月中には枚方市駅前複合施設内の行政サービスフロアに開設することで機能拡大と利便性の向上を図る。あわせて、同センターと連携する「児童育成支援拠点」も開設。不登校等の課題を抱える子どもが通える常設の居場所として、学習支援や食事の提供等を行う。令和5年度から市立全小中学校の児童生徒に開始したSNS相談アプリについては利用対象を18歳まで拡大し、若者世代の悩みにも対応する。さらに、児童生徒の熱中症対策や災害時の避難所としての機能強化を図るため、全小中学校体育館に空調設備の設置を進め、令和6年度末までの設置完了を目指す。

★小学校給食の無償化 5億8,351万8千円 (中学校給食の負担軽減分を含む)

令和6年2学期から市立小学校全児童を対象に開始。児童1人あたり3,800円/月分の負担軽減を図る。現在も食材料費高騰分の抑制については小中学校給食ともに学校給食費支援事業により実施しており、同事業の継続実施とあわせて無償化を実現する。

<問い合わせ> おいしい給食課 電話 050-7105-8030、FAX 072-851-1744

★「まるっとこどもセンター」開設 6億9,564万4千円

(市駅前行政サービスフロア開設費を含む)

これまで部局をまたがっていた、児童福祉機能と母子保健機能を一体化し、妊産婦、こども、子育て世帯にワンストップで切れ目のない相談支援を行うため、こども家庭センターを市の組織として4月から設置する。組織名称を「まるっとこどもセンター」と命名。9月中には枚方市駅前複合施設内の行政サービスフロアに開設することで機能拡大と利便性の向上を図る。

※4月から9月移転までは保健センター、北部支所、駅前サンプラザ3号館でそれぞれ業務を行う。

また、市内4カ所に相談拠点(地域子育て相談機関)も設置してセンター機能を補完する。専門職(保育士)が子育て相談に応じるとともに、必要に応じ「まるっとこどもセンター」につなげる。



<問い合わせ> (母子保健に関すること)

母子保健課 電話 072-840-7221、FAX 072-840-4496
(児童福祉に関すること)

子ども相談課 電話 050-7102-3221、FAX 072-846-7952

★児童育成支援拠点を開設 837万8千円

不登校の子どもや、家庭や学校に居場所のない子どもが継続的に通える常設の居場所をラポールひらかた内（枚方市駅から徒歩5分）に令和6年10月に開設。学習支援や食事、課外活動を提供する。開室は平日の日中（週3日）のほか三季休業期も行う。

<問い合わせ> 子ども支援課 電話 050-7102-3220、FAX 072-846-7952

★SNS相談を18歳まで拡充 3,382万7千円

市立全小中学校の児童生徒に配付しているタブレット端末を利用して、子ども自身が気軽に悩みや心配事を相談できるSNS相談アプリ「ポーチ」について、利用対象を18歳まで拡大し、若者世代の悩みにも対応する。手持ちのスマートフォンやパソコンで利用できるように専用のアプリをダウンロードすることで利用できる。同相談事業は令和5年度から市立全小中学校での運用を開始し、11月までに5,800人が利用、相談数は18,800件にのぼる。8月下旬からの実施を予定しており、相談件数の増加と内容の多様化を見据えて相談員の増員、スキル向上を図る。



▲アプリ画面イメージ

<問い合わせ> 子ども相談課 電話 050-7102-3221、FAX 072-846-7952

★体育館・教室等の空調設備を設置・更新 9億2,761万5千円

児童生徒の熱中症対策や災害時の避難所としての機能強化を図るため、全小中学校体育館に令和6年度末までの新規設置完了を目指す（中学校は6月末までに完了予定）。また、教室等の空調設備も令和7～9年度に省エネ機器への更新を進める。

<問い合わせ> (体育館の空調設備に関すること)

施設整備室 設備課 電話 072-841-1489、FAX 072-841-4607

(教室等の空調設備に関すること)

施設整備室 施設計画課 電話 072-841-1486、FAX 072-841-4607